

シンポジウム

災害史研究と資料保存

主催 新潟大学災害・復興科学研究所 地震・火山噴火予知研究協議会史料・考古部会「日本海沿岸地域を中心とした地震・火山噴火災害関連史料の収集と分析」研究グループ、科学研究費基盤研究（S）「災害文化形成を担う地域歴史資料学の確立—東日本大震災を踏まえて」研究グループ
共催 新潟大学人文学部地域文化連携センター、新潟歴史資料救済ネットワーク、新潟史学会

日時：2016年12月11日（日）13時～17時50分

会場：新潟大学総合教育研究棟 1F 大会議室

報告

矢田俊文 新潟大学災害・復興科学研究所

安政2年江戸地震と安政3年台風

中村 元 新潟大学人文学部

1964年新潟地震と歴史資料—20世紀後期日本の災害を歴史学から考えるために—

三村昌司 東北未来大学モチベーション行動科学部

東京足立の災害史と郷土史

蝦名裕一 東北大学災害科学国際研究所

岩手県・宮城県における被災資料保全と歴史津波研究

原田和彦 長野市立博物館

善光寺地震と2014年長野県北部地震資料保全

添田 仁 茨城大学人文学部

関東・東北豪雨水損文書に刻まれた水害史

田中洋史 長岡市立中央図書館文書資料室

昭和36年豪雪・長岡地震・集中豪雨・第2室戸台風の記録写真

—長岡市災害復興文庫・歴史公文書と災害史研究—

パネル・ディスカッション

司会 矢田俊文（新潟大学災害・復興科学研究所）、パネラー 報告者

どなたでも参加いただけます。（申込不要）

問い合わせ先 矢田俊文（新潟大学人文学部、新潟大学災害・復興科学研究所兼任）

〒950-2181 新潟市西区五十嵐2-8050 新潟大学人文学部

TEL：025-262-6542 MAIL：yata@human.niigata-u.ac.jp